

第十回留学報告書

2026年2月

若原征哉

2020年秋から FOS 奨学生として、アメリカ合衆国ミネソタ州にあるミネソタ大学にて Land and Atmospheric Science program に加入し、精密農業を専攻しています。

1. 学生生活

前回の留学報告書で記載した 2026 年 5 月の卒業見込みまで残り 4 か月になりました。年始から現在まで、怒涛の変化があり報告書提出が遅れてしまいました。申し訳ありません。結論から言うと、昨年 5 月からインターンシップをしていた OCP North America (OCPNA) で 2 月 17 日から正社員として働き始めることになりました。モロッコに本社をもち、全世界 70% のリン酸塩鉱石を保有する OCP Group の北アメリカ本社（ミネソタ州ワイザダ市）が雇用主になります。正社員としても、インターンシップで担当していた農地実験データ管理を引き続き行います。

昨年の年末ごろから就職活動を始めました。最優先事項は、2 児の託児サービス利用に十分な給与でしたが、次優先事項として、①子供たちが通うことができる日本語補習校が近隣にあること、②日本への帰国がしやすいこと、③サッカーをできる環境があることがありました。ミネアポリス・セントポール（以下、ツインシティ）には、本国の義務教育カリキュラムに沿った日本語補習校があり、1 月に体験入学にも行っていました。MSP からの直通便で日本への帰国にも便利で、サッカーをする環境もあります。さらに、これまで育んできた交友関係や、公立校の教育の質、暮らしやすさなど多面的に考えたときに、ツインシティに残留することが第一希望でした。インターンシップ開始から半年ほど経った昨年末に、正規社員としての雇用機会があるか上司に聞いた際には、不透明という返答でした。これは、もともと雇用を見据えたインターンシップというではなかったことが理由と伝えられました。ただし、幹部の方とお話しした際には、内部で雇用機会創造に取り組んでいるという返答も非公式に受けました。一方で、1 月には、ツインシティに本社がある中小企業の書類選考を通過し、面接に招待されました。OCPNA 側にも同事項を通達したとこと、その数週間後に正規雇用契約を頂きました。他社からの関心が OCPNA からの雇用契約獲得に有利に働いたかは定かではありませんが、予定よりも早く進路が決まり安心しました。私がインターンシップで担当している業務と OCPNA の企業展望が合致したことが、正規雇用につながった理由の一つだと思います。

現行のプロジェクトのために、OCPNA 側からは早急に就業してほしいと言われ、指導教員との相談・交渉の末、2 月 17 日から正社員として勤務することになりました。博士論文はあと

約1章分の執筆が残っていますが、これは勤務後と週末を利用して終わらせることにしました。ここ数年の論文執筆で、指導教員からある程度の信頼を得られていることもあり、指導教官との話し合いは円滑に進みました。もちろん博士号取得を蔑ろにはしません。ただ、博士号取得がゴールではないので、博士号取得と次のキャリアステップを両立するため、この決断に至りました。博士号は今秋には取得したいと思っています。

2. 私生活

相変わらずサッカーをしています。昨年で、大学のクラブチームを引退しましたが、今シーズンの中盤にコーチとキャプテンから連絡がありました。今シーズンは怪我人が続出したらしく、全国大会出場のかかった地区大会に登録する上でディフェンダーの選手が足りないため、どうか同行してくれないかという旨でした。引退したものの、まだ選手登録資格があったことと、チームの練習には同行していたことが理由だと思います。家族が最優先であることや、後輩の出場機会のために引退しましたが、助けが必要そうだったので地区大会にだけ参加することにしました。結果的に、チームは全国大会へ出場が決まり、個人的にも満足のいく大会でした。後にコーチから、大会の優秀選手の一人に選出されたと伝えられました。体が元気な間は、怪我に気を付けながらサッカーを楽しみたいです。ツインシティに引き続き住むので、大学サッカー部への恩返しとして、機会があればコーチの仕事なども引き受けるかもしれません。

明日、娘が2歳になります。息子も8か月になりました。これまで、大きな病気や怪我もなく、賑やかな毎日を過ごせていることに感謝しています。私の正規雇用開始に伴って、二人とも来週から託児サービスに行きます。娘は、3~6か月ごろまで通ったことのある場所ですが、息子にとっては初めての体験になります。娘にとっても暫くぶりのことですし、最近は自我が出てきているので嫌がるかもしれません。家族一同、楽しみ半面、不安半面の新生活に突入します。これについては、半年後の留学報告書で追記します。ここ週数週間は、新生活に向けて、託児サービスの手配、通勤用の車の購入、その他さまざまな計画に追われています。半年後、過ごし生活が落ち着いていると嬉しいです。振り返ると、多忙な半年間でしたが、妻や親類の支えがあり、充実した生活を過ごすことができました。とても感謝しています。

以下、写真を添付します。

